

# 令和3年度 「滋賀県いじめ防止に係る取組」

## 全国いじめ問題子供サミット参加校のいじめ防止に係る取組紹介 (守山市立守山北中 甲賀市立土山中 大津市立富士見小)

### 守山市立 守山北中学校

#### ①人権のつどい

12月初旬に各教室で実施

☆生徒会総務部が作成した「決めつけによる差別」が起きる場面の人権劇を視聴し、学級で話し合い  
☆教員と生徒会総務部の役員による校内放送で全校への伝達



過去のことで

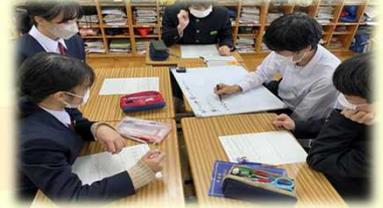
服装で

部活で

登録者数で

「決めつけによる差別」を題材に人権劇を作成（4パターン作成）

人権劇を視聴した後、「なぜこのような差別がおきるのか」、  
「決めつけや噂を信じてしまうのはなぜか」をクラスで考えた。



#### ②「スマホの働かせ方改革」

☆生徒会総務部が作成した劇を視聴し、使用改善の呼びかけ、  
使用時間の記録  
☆教員と生徒会総務部の役員による校内放送  
☆活動結果を生徒会通信や校内放送によって報告  
☆長時間使用やSNSの使用に関する劇を視聴  
→呼びかけによる啓発活動・使用時間の記録



スマホの長時間使用をブラック企業に見立てた動画を作成し、全校で視聴

「読書デー」「睡眠デー」といったスマホの使用に代わる取り組みを呼びかけ

日々の使用時間の平均を記録

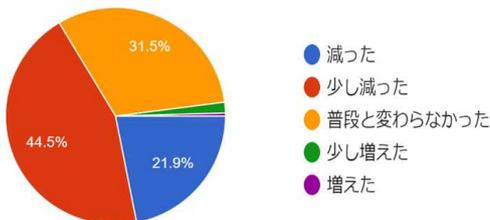
守山市生徒会サミットで決定したスローガンをもとに活動

### 「スマホの働かせ方改革」

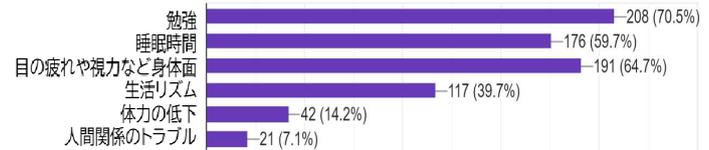
- ・スマホに住まいをあげよう  
使用していない時の置き場所を決めよう
- ・スマホに休憩をあたえよう  
こまめに休憩を取って目を休ませよう
- ・スマホの残業を減らそう  
夜遅くまで使わないようにしましょう

取り組み後のアンケートから生徒会総務部で考察しテスト期間があったので減少傾向となったのではと考えた。

① 今回の活動中、スマホやタブレット、ゲーム機などのメディアの使用時間に変化はありましたか。



② どのようなことで悪い影響があると感じましたか。



③ どのようなことで良い影響があると感じましたか。



・アンケート結果からスマホ・SNSの使用は良いも悪いもある  
・正しい使用方法やSNSの利用について課題がまだまだあると考えた

#### 感想

・このような機会で真剣に考えてみて、自分も無意識に差別をしているなど気づきました。  
・相手と直接関わって、そして自分は思うか判断していきたいと思いました。

「令和3年度全国いじめ問題子供サミット」に参加したことを、全校や校区、地域、県市へ広げていくため取組予定内容

- スマホの正しい使用方法やSNSの正しい利用に関する認知・改善の活動を行う。
- 全国サミットにおいてグループ協議で作成したキャンペーンムービーを昼の放送で流す。
- 昼の放送にラジオCMとして、スマホ・SNSの啓発CMを流す。

# 甲賀市立 土山中学校

## 生徒会主体の活動

### ①あいさつ運動

日時：毎週水曜日の朝登校時  
 場所：校門・昇降口・階段・廊下等  
 生徒会執行部・委員会に所属している生徒  
 目的：気持ちの良いあいさつを交わすことで、コミュニケーションをしっかりとる態度を養う。

生徒会スローガン

つなぐ

繋

～ここから始める土中story～



### ②土中を知る取り組み(土中クイズ)

日時：月一回の委員会の次の日  
 内容：土山中学校に関するクイズを生徒会執行部から全校生徒に出題する。  
 目的：自分の学校や生徒についての知識を深め、母校やともに学ぶ仲間を大切に思う気持ちを育てる。

### 生徒の感想

地域のごみ拾いの活動によって、一人ひとりの意識の繋がりが強くなったと感じています。いつも話をしていない人とコミュニケーションをとれると同時に、地域の役にも立ちました。地域がきれいになるとみんなで達成感が味わえ、気持ちをみんなで共有する大切さを感じました。

### ③啓発活動

日時：毎月  
 内容：各委員会からポスター掲示や放送でさまざまな呼びかけを行う。  
 人権週間・人権に関わる動画や障がい者理解につながる動画を生徒が昼の放送などで放映  
 ペットボトルキャップ・牛乳パック・ベルマークの回収、ユニセフ・赤い羽根募金の協力等

### ④地域のごみ拾い

日時：学期に一回  
 内容：各委員会ごとに地域を割り振り、放課後の時間にゴミ拾いをする。  
 目的：地域に出てゴミ拾いをするすることで、地域の人々に取り組みを知ってもらうとともに、地域の人とのコミュニケーションをとる機会とする。

## 学校全体の取組

### ①グループワーク

日時：毎週水曜日の学活の時間前の10分間  
 内容：学活の前にグループワークの時間を水曜日の時間割に設け、コミュニケーションスキル向上のために活動を取り入れている。  
 (具体例) アドじゃん、ゴジラとゴリラ、セブンイレブンじゃんけんなど  
 目的：対人関係に不安を持つ生徒が増えてきたこともあり、普段関わっている人以外の人とも関わりを積極的に持てる時間を持つことにより、コミュニケーションスキルの向上を目的としている。

### 生徒の感想

私も普段喋らない人とグループになって喋ったり、盛り上がったりしていると、グループワークを行っていないときでも喋れるようになりました。いろいろな人と関わることで、友達の輪がとて広がるので、仲間外れなどがなくなってきました。

### ②縦割り活動

日時：体育祭期間～文化祭期間  
 内容・目的：グループワーク等で横のつながり(学年内)を深めることを意識し、体育祭・文化祭の学校行事では横のつながりだけでなく、縦のつながり(学年間)を深めるために、縦割り団(学年を越えたチーム作り)で活動に取り組んでいる。



「令和3年度全国いじめ問題子供サミット」に参加したことを、全校や校区、地域、県市へ広げていくため取組予定内容

- いじめサミットに参加した生徒会長が、全校集会等で全国のほかの学校の取り組みを紹介し、全校でいじめについて考える場をつくる。
- 生徒会がいじめについてのアンケートを学校アンケートは別に作成し、そのアンケート結果をまとめ全校生徒に呼びかけを行う。
- あいさつ運動の枠を広げ、生徒会執行部だけでなく、全校生徒が曜日によって担当し、全員があいさつを通してコミュニケーションを深める環境をつくる。

# 大津市立 富士見小学校



富士っキー



フジーくん



富士見くん

## ①あいさつ王をめざせ

7月と10月に通学路、昇降口、校内で実施

(方法) 進んでよいあいさつができた児童に、スクールガード、教員、運営委員が富士見小オリジナルあいさつ運動コイン「フジー」を渡し、学年対抗でコインの総数を競う。

代表委員会で、運営委員が提案。運営委員がクラスで集めたコインを毎日集計し、経過を昇降口に掲示。1位から3位までのクラスは表彰式を行い、その様子をビデオで撮影して全校に紹介した。

前年度からの取り組みということもあり、子どもたちはスムーズに取り組みに参加することができた。また、「フジー」をたくさん集めようと、毎朝元気よくあいさつする子どもが増えた。

## ②富士見キャラクター

2学期に昇降口、玄関に飾る

(方法) キャラクターを児童から募集し、運営委員が絞ったいくつかのキャラクターに全校児童が投票し、決定。

運営委員によって選ばれたキャラクター3体を昇降口に掲示。全校より200名以上の応募があった。選ばれたキャラクターは、看板を作成して昇降口と正面玄関に飾っている。

## ③北大路ブロック スローガン

夏休み～2学期に大津っ子未来会議(オンライン)で決定

(方法) 大津っ子未来会議で、粟津中・北大路中ブロックの5つの小中学校の代表で話し合いをし、いじめをなくすためのスローガンを決めた。

クリアファイルにスローガンのラベルを貼り、趣旨を説明した手紙と共に全児童に配布。

クリアファイルにして配布したことにより、全校に取り組みを知ってもらうことができた。

2021年度 大津っ子未来会議  
～児童会・生徒会サミット～

GO-5

スマイル

笑顔いっぱい

粟津・北大路ブロック  
富士見小学校児童会

大津っ子未来会議に参加した際に、他校と考えたキャッチフレーズ



「令和3年度全国いじめ問題子供サミット」に参加したことを、全校や校区、地域、県市へ広げていくため取組予定内容

○職員室前廊下に掲示。

サミットにおいてグループで作成したキャンペーン動画と参加をしての感想を放送で紹介する。